

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
AM36Z073		中国語 (Chinese)					外国語科目		対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態					
選択	1	1	医学部看護学 科	後期	月1	日本語				単独					
担当教員	氏名 鈴木 晶（非）														
	E-mail chenjing@nm.beppu-u.ac.jp 内線														
授業の概要	外国語を学ぶのは、聞くこと、書くこと、話すことである。「中国語」の授業は、「中国語」を学習した上で、さらに難しい語彙、文法を学び、一定程度の語彙及び文法をマスターした上で、会話の練習を行う。中国語による挨拶、自己紹介、買物などの場面を設定し、会話を学ぶ。この授業では中国語での簡単な単語とフレーズを理解し、使用することで具体的なコミュニケーションを行うことを目指す。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1	異なる場面での挨拶を表現できる										○				
目標2	基本文法を説明できる											○			
目標3	会話の単語数を増やし、会話で表現することができる								○						
目標4	旅行用の会話ができる									○					
目標5	日常会話を話すことができる									○					
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度（計10）									2	2	2	4			
授業の内容															
1 文法 1 主語＋動詞＋目的語															
2 文法 2 主語＋動詞＋人物＋もの															
3 文法 3 主語＋動詞 1＋動詞 2															
4 語彙 1 日常会話に関する															
5 語彙 2 日常会話に関する															
6 語彙 3 旅行に関する言葉															
7 聴解 1 買物の場面															
8 聴解 2 郵便局															
9 聴解 3 空港															
10 読解 1 交通機関に関する標識															
11 読解 2 観光案内図															
12 読解 3 観光地															
13 会話 1 病院															
14 会話 2 タクシー															
15 自己紹介など															
ラ ァ ィ ェ ニ ン グ	A:知識の定着・確認		○	・発音のチェック発表してもらう。				工 そ 夫 の 他 の							
	B:意見の表現・交換		○	・作文の口頭発表をしてもらう。											
	C:応用志向		○	・授業中、グループやペアによる会話練習をしてもらう。											
	D:知識の活用・創造		○												
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修		配布資料等の情報を必要に応じて予習する（15時間）												
	事後学修		小テストや配布資料を用いて復習する（15時間）												
	想定時間合計		30												
教科書	鈴木晶『やさしい中国語 基本文型と単語』、関東図書、2021年、1980円、ISBN978-4-904006-22-1														
参考書	園田茂人編『日中関係史 1972 - 2012 民間』、東京大学出版会、2015年、ISBN978-4-13-023067-4														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	期末テスト		60%			○							
	小テスト		20%		○								
	発表		10%				○						
	授業の取り組みの姿勢		10%	○									
注意事項		特になし。											
備考													
リンク													
	URL												